

## 2020年度 講義要項（授業計画）

					実務経験のある教員等による授業科目		<input type="checkbox"/>
科目名	医学総論			担当講師	藤枝 一雄		
分 野	専門基礎	授業方法	講義	実務経験			
単位数	2 単位	時 間	30 時間	学 年	1年次	学 期	前期
概 要	医学とは何か、を目指すものは何かを自ら考える。						
到達目標	1. 医は仁術であるという言葉を考えさせる。 2. QOL（生命の質、生活の質）を考えさせる。 3. 医学の発達の姿を知る。 4. 病因学を知る。 5. 病変の本態を知る。 6. 病的な形態を知る。 7. ホメオスタシスという言葉を理解する。 8. 病気の診断方法を知る。 9. 病気の治る過程を知る。 10. 医療チームの総合的医療がリハビリテーションであることを知る。 11. 病気を予防するにはどうしたらよいかを知る。 12. 生活習慣病を理解する。 13. 医療システムを考える。 14. 治療からターミナルケアまで考える。						
回	授 業 計 画 ・ 内 容						
1	医療関係職種、施設						
2	日本の医療保険制度						
3	在宅ケア、わが国の救急医療						
4	災害医療、医療安全						
5	健康とは何か、ヘルスプロモーション						
6	たばこ対策、老人として生きる						
7	リハビリテーションを理解しよう						
8	近代医学の誕生						
9	人工環境と健康問題						
10	臓器移植医療、ゲノム医学						
11	医療の国際化、補完代替医療						
12	患者中心の医療						
13	医療と診療記録						
14	生命倫理、患者の権利						
15	個人情報、ターミナルケア						
評価方法	出席、定期試験にて評価を行う						
教科書	学生のための医学概論 医学書院						
参考書							
備 考							

## 2020年度 講義要項（授業計画）

28	(2) 消化と吸収のための器官
29	(3) 尿の生成と排泄のための器官
30	(4) 生殖器官

評価方法	出席率、筆記試験、カラースケッチ等
教科書	PT・OT・STのための解剖学 廣川書店 カラースケッチ解剖学 廣川書店
参考書	
備 考	

## 2020年度 講義要項（授業計画）

## 2020年度 講義要項（授業計画）

回	授業計画・内容
1	病因
2	先天異常①
3	先天異常②
4	循環器
5	炎症
6	感染①
7	感染②
8	免疫①
9	免疫②
10	アレルギー①
11	アレルギー②
12	進行・退行変性
13	腫瘍
14	まとめ①
15	まとめ②

評価方法	試験、出席、受講態度等
教科書	標準理学療法学・作業療法学 病理学 医学書院
参考書	

備 考

備 考	
-----	--

## 2020年度 講義要項（授業計画）

回	授業計画・内容
1	循環器疾患
2	高血圧疾患
3	消化器疾患
4	消化器疾患
5	肝疾患、胆のう疾患
6	大腸疾患、血液疾患
7	血液疾患
8	代謝
9	糖尿病
10	糖尿病
11	メタボリック症候群、高尿酸血症
12	内分泌疾患
13	腎疾患
14	呼吸器疾患
15	膠原病

評価方法	試験、出席
教科書	標準理学療法学・作業療法学 内科学 医学書院
参考書	
備 考	

## 2020年度 講義要項（授業計画）

回	授業計画・内容
1	精神疾患の分類 ショートスピーチトレーニング 精神衛生学（精神保健）
2	疾病分類、面接基準 精神医学的検査
3	精神障害の治療法（1）：薬物療法、精神療法 精神障害の治療法（2）：社会復帰療法、リハビリテーション
4	臨床心理学の基礎：ライフサイクルからみた基本的な精神発達 法的変遷とその理解 TEGと自己分析
5	各論（統合失調症） コミュニケーション理論 各論（躁うつ病/神経症 他） 行動療法
6	各論（認知症/発達障害学） 総論のまとめ 治療論 コラージュ療法
7	治療論 コラージュ療法 音楽療法
8	治療者・患者関係：患者さんとどう接するか

評価方法	定期試験
教科書	(指定教科書なし)
参考書	
備 考	

## 2020年度 講義要項（授業計画）

					実務経験のある教員等による授業科目			<input type="checkbox"/>
科目名	形成外科学			担当講師	西尾康二 他			
分 野	専門基礎	授業方法	講義	実務経験				
単位数	1 単位	時 間	15 時間	学 年	1年次	学 期	後期	
概 要	言語障害を発生する顔面の外傷、疾病を中心に創傷の治癒という問題を掘り下げて考える。							
到達目標	1. 創傷の治癒過程について理解できる。 2. 皮膚形成術について理解できる。 3. 植皮について理解できる。 4. ケロイドについて理解できる。 5. 熱傷について理解できる。 6. 顔面神経麻痺について理解できる。							

回	授 業 計 画 ・ 内 容
1	顔面の形成外科学
2	口蓋裂とその治療
3	口唇・口蓋裂
4	褥瘡、熱傷、顔面神経麻痺
5	頭蓋、顔面の先天異常
6	頭頸部手術に伴う障害
7	言語聴覚療法に関する形成外科学
8	まとめ

評価方法	定期試験、出席、受講態度等
教科書	
参考書	講義資料を参照
備 考	

## 2020年度 講義要項（授業計画）

					実務経験のある教員等による授業科目			<input checked="" type="checkbox"/>
科目名	小児科学			担当講師	岡崎 宏			
分 野	専門基礎	授業方法	講義	実務経験	言語聴覚士としての実務経験			
単位数	2 単位	時 間	30 時間	学 年	2年次	学 期	前期	
概 要	小児の成長・発達について理解し、小児期に発生する各疾患と治療について知ることで、療育やリハビリテーション、保護者支援の方法について学ぶ。							
到達目標	1. 小児の特徴と成長・発達、成人との違いについて理解する。 2. 各疾患の特徴と治療法について理解する。 3. 小児医療を通して、診療・リハビリテーションの在り方を理解する。							

回	授 業 計 画 ・ 内 容
1	小児の発達と成長
2	小児保健
3	遺伝疾患と先天異常
4	新生児・乳児期の特徴
5	新生児疾患
6	神経・骨・筋肉疾患
7	循環器疾患
8	呼吸器疾患
9	感染症
10	消化器疾患、内分泌・代謝疾患
11	免疫・アレルギー疾患
12	腎・泌尿器系、生殖器疾患
13	血液疾患・悪性腫瘍
14	心身症・神経症・精神疾患
15	眼科・耳鼻科系疾患

評価方法	定期試験、出席、受講態度等に基づいて学修成果を判定する。
教科書	言語聴覚士のための基礎知識「小児科学・発達障害学」 第3版 医学書院
参考書	
備 考	講義資料と教科書を読み、予習復習を行うこと。

# 2020年度 講義要項（授業計画）

					実務経験のある教員等による授業科目			<input type="checkbox"/>
科目名	耳鼻咽喉科学			担当講師	草野義尊			
分 野	専門基礎	授業方法	講義	実務経験				
単位数	2 単位	時 間	30 時間	学 年	2年次	学 期	前期	
概 要	耳鼻咽喉科学領域の各器官の構造・機能など、基礎的事項について理解を深める。各疾患の病態生理を理解し、検査やリハビリテーションなどについて言語聴覚士として必要な知識を身につける。							
到達目標	1. 外耳・中耳・内耳・後迷路の構造・機能についてより深く理解し、十分に説明できる。 2. 外耳・中耳・内耳・後迷路の疾患についてより深く理解し、十分に説明できる。 3. 顔面神経の構造と機能、顔面神経麻痺、聴力改善手術について説明できる。 4. 前庭・平衡系の構造・機能・検査について説明できる。 5. メニエール病、良性発作性頭位眩暈、前庭神経炎などの主要なめまい疾患について説明できる。 6. 鼻副鼻腔の構造・機能・検査、嗅覚、嗅覚障害などについて説明できる。 7. 外鼻疾患、形態異常、外傷など、主要な鼻副鼻腔の疾患について説明できる。 8. 鼻アレルギー、副鼻腔炎、鼻副鼻腔腫瘍など、主要な鼻副鼻腔の疾患について説明できる。 9. 口腔・咽頭の構造・機能・検査、について説明できる。 10. 舌・唾液腺疾患、鼻咽腔閉鎖不全、味覚障害など、口腔、咽腔の主要な疾患について説明できる。 11. 喉頭の構造・機能・検査、炎症性疾患、腫瘍・良性腫瘍などについて説明できる。 12. 喉頭の悪性腫瘍、外傷、音声外科、喉頭全摘・無喉症などについて説明できる。 13. 気管・気管支・食道の構造・機能、検査、疾患、気管切開術などについて説明できる。 14. 頸部の解剖、甲状腺を含む頸部の疾患などについて説明できる。							

回	授業計画・内容
1	耳科学①外耳・中耳・内耳・後迷路の構造・機能
2	耳科学②外耳・中耳・内耳・後迷路の疾患
3	耳科学③顔面神経の構造と機能、顔面神経麻痺、聴力改善手術
4	耳科学④前庭・平衡系の構造・機能・検査
5	耳科学⑤めまい疾患（メニエール病、良性発作性頭位眩暈、前庭神経炎など）
6	鼻科学①鼻副鼻腔の構造・機能・検査、嗅覚、嗅覚障害
7	鼻科学②鼻副鼻腔の疾患Ⅰ（外鼻疾患、形態異常、外傷など）
8	鼻科学③副鼻腔の疾患Ⅱ（鼻アレルギー、副鼻腔炎、鼻副鼻腔腫瘍など）
9	口腔・咽頭科学①口腔・咽頭の構造・機能・検査
10	口腔・咽頭科学②口腔・咽頭疾患（舌・唾液腺疾患、鼻咽腔閉鎖不全、味覚障害など）
11	喉頭科学①喉頭の構造・機能・検査、炎症性疾患、腫瘍・良性腫瘍など
12	喉頭科学②喉頭の悪性腫瘍、外傷、音声外科、喉頭全摘・無喉症など
13	気管・食道科学 気管・気管支・食道の構造・機能、検査、疾患、気管切開術など
14	気管・食道科学 頸部の解剖、甲状腺を含む頸部の疾患など
15	気管・食道科学 頸部郭清術、再建術など

評価方法	定期試験
教科書	STEP SERIES 耳鼻咽喉科第3版 海馬書房
参考書	
備考	

## 2020年度 講義要項（言語聴覚療法学科 授業計画）

回	授業計画・内容
1	神経系の構造と機能
2	脳神経系、自律神経系、他
3	運動機能および感覚機能、運動機能障害および感覚機能障害
4	各種高次脳機能および高次脳機能障害
5	脳血管障害（画像診断、脳機能解剖など）
6	脳血管障害（分類、評価法、急性期リハビリテーション、予後など）
7	脊髄損傷
8	パーキンソン症候群、ニューロパチー
9	運動ニューロン疾患
10	脊髄小脳変性症、多系統萎縮症、多発性硬化症
11	ミオパチー、重症筋無力症
12	小児疾患
13	脳腫瘍、脊椎疾患
14	脳脊髄炎、てんかん、他
15	認知症

評価方法	筆記試験で評価
教科書	特に指定はない
参考書	特に指定はない
備 考	特になし

# 2020年度 講義要項（授業計画）

					実務経験のある教員等による授業科目			<input type="checkbox"/>
科目名	臨床歯科医学（口腔外科学）				担当講師	鈴木規子		
分 野	専門基礎	授業方法	講義	実務経験				
単位数	2 単位	時 間	30 時間	学 年	1年次	学 期	後期	
概 要	口腔・歯・歯周組織の構造と機能、及びそこに発生する疾患の病態・診断・治療・予防等について学ぶ。言語障害と口腔の構造・機能障害とは密接に関連する場合が多い。口腔・歯・歯周組織に発生する疾患について概略を知り、必要な症例にあたっては歯科医師等と緊密な連携をとるために必要かつ十分な知識を習得する。							
到達目標	1. 言語治療と歯科治療とを関連付けることができる。 2. 口腔・歯・歯周組織の構造を簡単に説明できる。 3. 口腔・歯・歯周組織の機能を簡単に説明できる。 4. 歯の成長・発育のしくみの概略を説明できる。 5. 歯科保健衛生について理解でき、適切な歯口清掃の仕方を説明できる。 6. 口腔・歯・歯周組織に発生する疾病的病態について概略を説明できる。 7. 口腔・歯・歯周組織に発生する疾患の診断・治療・予防等について概略を説明できる。 8. 保存修復・歯内・歯周治療など歯科保存領域の治療について簡単に説明できる。 9. 冠・橋・義歯・インプラントなど歯科補綴領域の治療について簡単に説明できる。 10. 抜歯や小手術など口腔外科領域の治療について簡単に説明できる。 11. 不正咬合や歯科矯正治療について簡単に説明できる。 12. 唇顎口蓋裂や顎関節症など額口腔機能障害と関わる治療について簡単に説明できる。 13. 乳幼児・高齢者・障害者などを治療する場合の留意点について説明できる。 14. 新しい治療の話題やその試みを知る。							

回	授業計画・内容
1	歯科、歯科口腔外科総論
2	歯・口腔・顎・顔面の構造と機能
3	歯・歯周組織の疾患
4	口腔ケア
5	口蓋裂にみられる障害、顔面の発生
6	言語・構音の機能障害、嚥下障害
7	先天異常、音声のしくみ
8	咀嚼障害
9	囊胞・腫瘍
10	舌切除による咀嚼・嚥下・構音障害
11	機能障害に対する治療
12	機能障害に対する補綴装置
13	高齢者に対する摂食訓練
14	回復期における歯科・口腔ケア
15	まとめ

評価方法	試験、出席
教科書	言語聴覚士のための臨床歯科医学・口腔外科学
参考書	
備 考	

## 2020年度 講義要項（授業計画）

## 2020年度 講義要項（授業計画）

回	授業計画・内容
1	胸郭の構造と働き
2	呼吸筋
3	内喉頭筋と外喉頭筋（前半）
4	内喉頭筋と外喉頭筋（後半）
5	声帯の構造
6	小テスト
7	鼻咽腔のメカニズムと軟口蓋の筋
8	舌の筋
9	下顎筋（咀嚼筋）と顎関節
10	顔面筋
11	確認テスト
12	音声医学総論
13	音声医学総論
14	音声医学総論
15	音声医学総論

評価方法	定期試験、小テスト、課題レポート、出席、受講態度等に基づいて学修成果を判定する。
教科書	配布資料
参考書	
備 考	

## 2020年度 講義要項（授業計画）

## 2020年度 講義要項（授業計画）

回	授業計画・内容
1	生涯発達心理学とは
2	発達の規定因、発達段階、発達課題
3	生涯発達心理学の研究法
4	胎児期、乳児期
5	幼児期
6	児童期
7	道徳性と三歳児神話
8	青年期前期
9	青年期中期・後期
10	中間テスト
11	成人期前期
12	成人期中期（中年期）
13	成人期後期（老年期）
14	キューブラー・ロスについて
15	まとめ
16	気質・性格
17	発達の規定因
18	ハヴィガーストとエリクソン
19	ボウルヴィの愛着理論
20	ピアジェの思考発達段階
21	視覚と発達
22	発達障害とABA（応用行動分析）
23	中間テスト
24	アイデンティティ
25	発達障がいと療育①
26	発達障がいと療育②

27	発達障がいと療育③
28	発達理論のまとめと近年の動向
29	言語聴覚療法と生涯発達心理学
30	まとめ

評価方法	毎回の受講態度、リアクションペーパーの回答、テストの点数等で総合的に評価する。
教科書	(指定教科書なし)
参考書	
備 考	

## 2020年度 講義要項（授業計画）

## 2020年度 講義要項（授業計画）

回	授業計画・内容
1	認知心理学の歴史
2	実験心理学、行動主義
3	認知心理学と隣接諸学
4	神経生理学基礎-1
5	神経生理学基礎-2
6	視知覚の基礎特性
7	図形知覚
8	奥行知覚
9	運動知覚
10	パタン認知（顔の認知）
11	認知と注意
12	認知と記憶-1
13	認知と記憶-2
14	認知と情動
15	まとめ

評価方法	定期試験
教科書	最新 認知心理学への招待 サイエンス社
参考書	
備 考	授業の形式は「講義」であるが、可能な限り「実験」を取り入れる予定である。実験においては、受講者の積極的な参加を切に望む。

## 2020年度 講義要項（授業計画）

回	授業計画・内容
1	ガイダンス 1. 学習の定義 2. 学習の諸理論
2	I 古典的条件づけ 1. 典型例 2. 行動の獲得
3	I 古典的条件づけ 3. 条件づけの消去 4. 条件づけの汎化と弁別
4	II オペラント条件づけ 1. 典型例：報酬訓練、逃避・回避訓練、罰訓練
5	II オペラント条件づけ 2. 行動の獲得と消去：強化スケジュールと消去手続き
6	II オペラント条件づけ 3. 汎化と弁別
7	III 技能学習 1. 鏡映描写実験—学習曲線作成—
8	III 技能学習 2. 結果の知識 3. 練習の条件 4. 技能の記憶 5. 技能の転移
9	IV 社会的学習
10	V 問題解決と推理
11	VI 概念過程と言語獲得
12	VII 記憶と忘却 1. 記憶の過程 2. 忘却曲線 -記録、保持、想起、忘却、干渉説-
13	VII 記憶と忘却 3. 記憶の病態
14	VIII 学習の障害 IX 学習理論の医療への応用-医療行動科学概説-
15	Xまとめ、国家試験対策

評価方法	出席日数	レポート	定期試験
教科書	グラフィック学習心理学—行動と認知—	サイエンス社	
参考書	現代心理学Ⅰ～Ⅲ 学習心理学への招待	サイエンス社 サイエンス社	
備 考	成績評価は受講態度も加味する。時間が許せば、記憶の実験、心理検査等も実施する。		

## 2020年度 講義要項（授業計画）

回	授業計画・内容
1	心理測定法の理論、数量化の意義
2	性格の測定
3	行動科学の基礎的概念
4	精神物理学測定法の基礎概念（閾と認知）
5	錯視と測定手続き
6	記憶（ワーキングメモリー）の測定と実験計画法
7	極限法／恒常法
8	尺度構成法の基礎（信頼性と妥当性）
9	心理テストの結果の見方／SD法と評価法／1次元尺度と多次元尺度
10	知能検査の実際
11	心理測定の論理と技法／心理測定の目的、概念、対象
12	心理測定尺度の作成
13	心理測定尺度の実施
14	心理測定尺度の集計・分析・標準化
15	心理測定尺度のまとめと報告／専門用語の確認と国家試験過去問題解説

評価方法	レポート 定期試験
教科書	心理測定法への招待 サイエンス社
参考書	心理テスト法入門第4版 日本国文化科学社 心と行動のサイエンス 北樹出版
備 考	

## 2020年度 講義要項（授業計画）

回	授業計画・内容
1	言語とは何か①
2	言語とは何か②
3	世界の中の日本語①
4	世界の中の日本語②
5	日本の方言
6	語の構造
7	文の構造
8	言語行動
9	構成素分析・生成文法①
10	生成文法②・句構造規則
11	意味論・語用論
12	語と語の意味関係
13	類義語・多義語の分析
14	音素について
15	まとめ

評価方法	試験、出席
教科書	よくわかる言語学入門—解説と演習（日本語教師トレーニングマニュアル）
参考書	
備 考	

## 2020年度 講義要項（授業計画）

回	授業計画・内容
1	心理言語学概説
2	人はどのようにことばを獲得・習得するか
3	配慮表現
4	言語は必ず変化する
5	ことばの運用①
6	ことばの運用②
7	言語学総復習
8	音声学総復習
9	言語と脳・思考・文化①
10	言語と脳・思考・文化②
11	母語の獲得①
12	母語の獲得②
13	役割語、ヴァーチャル方言
14	母語の獲得（文法・語彙）
15	ことばの認知

評価方法	試験、出席
教科書	よくわかる言語学入門—解説と演習（日本語教師トレーニングマニュアル）
参考書	
備 考	

## 2020年度 講義要項（授業計画）

回	授業計画・内容
1	音声の性質、発声の仕組み①
2	音声の性質、発声の仕組み②
3	調音器官と調音点
4	母音・IPAの見方①
5	母音・IPAの見方②
6	具体的な音声①
7	具体的な音声②
8	アクセント
9	具体的な音声・そり舌音/硬口蓋音①
10	具体的な音声・そり舌音/硬口蓋音②
11	具体的な音声・そり舌音/硬口蓋音③／軟口蓋音
12	具体的な音声・軟口蓋音②
13	口蓋垂音、IPAでの表記①
14	口蓋垂音、IPAでの表記②
15	促音・長音

評価方法	試験、出席
教科書	日本語の音声入門—解説と演習（日本語教師トレーニングマニュアル）
参考書	
備 考	

## 2020年度 講義要項（授業計画）

回	授業計画・内容
1	オリエンテーション, 音の物理学入門
2	音源フィルタ理論, 音に関する物理量
3	音の基本公式, 純音, 複合音, フーリエの原理
4	対数・指數関数, デシベル表示
5	音声波形表示, スペクトル表示, サウンドスペクトログラム
6	呼吸・発声のしくみ, スペクトルとサウンドスペクトログラムの関係
7	音源フィルタ理論, 共鳴する条件
8	狭帯域分析, 広帯域分析, 標本化定理
9	中間試験
10	アナログとデジタル, 標本化, 量子化, サンプリング周波数
11	中間試験解説
12	Praatで音声波形分析, 周波数分析, 信号とシステム, 線形システム
13	母音・鼻母音の音響分析, 母音の無声化, 調音結合
14	音声表記と音韻表記, 日本語母音・子音の音響特徴
15	超分節的特徴, 声の性差, ラベリング

評価方法	筆記試験に基づいて学修成果を判定する。
教科書	言語聴覚士のための音響学 医歯薬出版株式会社
参考書	言語聴覚士の音響学入門 海文堂 図解雑学『音のしくみ』 音のなんでも小事典 ブルーバックス
備 考	講義資料と教科書を読み、予習復習を行うこと。

## 2020年度 講義要項（授業計画）

## 2020年度 講義要項（授業計画）

					実務経験のある教員等による授業科目		<input type="checkbox"/>
科目名	言語発達学			担当講師	石渡千沙絵		
分 野	専門基礎分野	授業方法	講義	実務経験			
単位数	2 単位	時 間	30 時間	学 年	1年次	学 期	前期
概 要	「ことば」はヒトの成長・発達の過程においてどのように獲得され、習得するようになったのかを理解する。また、代表的な言語発達理論やことばの障害、障害受容についても学ぶ。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 乳幼児期のコミュニケーションの発達について理解できる</li> <li>2. 語彙の獲得について理解できる</li> <li>3. 文の獲得について理解できる</li> <li>4. 語りの発達について理解できる</li> <li>5. 語用論の発達について理解できる</li> <li>6. 心の理論について理解できる</li> <li>7. 代表的な言語発達理論について理解できる</li> <li>8. 障害受容の過程について理解できる</li> </ol>						
回	授 業 計 画 ・ 内 容						
1	言語発達について						
2	ことばの発達の理論的基礎						
3	乳児期におけるコミュニケーションの発達						
4	乳児期におけるコミュニケーションの発達						
5	音韻の発達						
6	音韻の発達						
7	語彙の発達						
8	語彙の発達						
9	文法の発達						
10	語用論						
11	読み書きの発達						
12	心の理論						
13	言語発達学の生物的基礎						
14	言語発達の障害の実際						
15	言語発達の障害の実際						
評価方法	筆記試験に基づいて学修成果を判定する。						
教科書	よくわかる 言語発達 ミネルヴァ書房						
参考書	ことばの発達と障害 第1巻 ことばの発達入門 大修館書店						
備 考	講義資料と教科書を読み、予習復習を行うこと。						

## 2020年度 講義要項（授業計画）

					実務経験のある教員等による授業科目		<input checked="" type="checkbox"/>
科目名	リハビリテーション概論			担当講師	高堀雅子		
分 野	専門基礎	授業方法	講義	実務経験	言語聴覚士としての実務経験		
単位数	2 単位	時 間	30 時間	学 年	1年次	学 期	前期
概 要	リハビリテーションの基礎を学ぶ。						
到達目標	1. リハビリテーションの定義と目的を説明できる。 2. 國際障害分類の概念を理解できる。 3. リハビリテーションの流れ（諸段階）を理解できる。 4. ノーマライゼーションの概念を理解できる。 5. 地域リハビリテーションの概念を理解できる。 6. リハビリテーション医学の概念を理解できる。 7. リハビリテーション看護の概念を理解できる。 8. 理学療法の概念を理解できる。 9. 作業療法の概念を理解できる。 10. 言語聴覚療法の概念を理解できる。 11. 介護福祉士の概念を理解できる。 12. 医療ソーシャルワーク (MSW) の概念を理解できる。 13. 精神保健福祉 (PSW) の概念を理解できる。 14. 専門職に求められる職業倫理を理解する。						
回	授 業 計 画 ・ 内 容						
1	リハビリテーションとは①						
2	リハビリテーションとは②						
3	ノーマライゼーション						
4	障害とリハビリテーション①						
5	障害とリハビリテーション②						
6	リハ医概論						
7	リハ看護概論						
8	作業療法						
9	理学療法						
10	MSW概論						
11	精神保健福祉士概論						
12	障害者総合支援法						
13	地域リハ						
14	職業倫理①						
15	職業倫理②						
評価方法	定期試験、出席、受講態度等に基づいて学修成果を判定する。						
教科書	言語聴覚士テキスト第3版						
参考書	基礎と課題から学ぶ新時代の社会福祉						
備 考	講義資料と教科書を読み、予習復習を行うこと。						

## 2020年度 講義要項（授業計画）